**産業・科学革新人材事業（INSIGHT）採択記者会見**
**「KUIRE サイクルを加速する産業・科学革新人材の育成・循環」**

神戸大学は、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」の実現に向け、産学官が連携するイノベーションエコシステム「KUIRE サイクル」を基盤として、人材育成と研究力強化を一体的に推進する「KUIRE サイクルを加速する産業・科学革新人材の育成・循環」に取り組みます。

本事業では、新たに産学共創インスティテュートを設置し、組織的大型共同研究、人材育成、制度改革を一体的に推進します。大学と企業の間で人材が循環する仕組みを構築することで、社会課題の解決とイノベーション創出を担う高度人材の育成を図るとともに、研究成果の社会実装を加速し、持続的な産学共創モデルの実現を目指します。
事業の推進に当たっては、学長直下の産学共創インスティテュートを中核として、研究、教育、産学連携、人事及び財務を担当する部局が緊密に連携する体制を整備します。また、既存の研究・教育支援組織とも連携しながら、研究者のみならず、技術職員や研究開発マネジメント人材を含む多様な人材の育成と活躍を支援し、全学的な産学共創基盤の強化を図ります。

本事業の特徴の一つは、大学と企業の双方向の人材循環を促進するとともに、研究開発から人材育成、社会実装までを企業と一体となって推進する点にあります。
今回、参画企業には、共同研究の実施だけでなく、研究課題の設定や研究開発戦略の検討、教育プログラムへの参画、学生への実践的な学習機会の提供など、多面的な役割を担っていただきます。企業が有する技術や知見、研究開発上の課題を大学の教育・研究活動に取り込むことで、社会や産業界のニーズを踏まえた研究活動と人材育成を推進するとともに、研究成果の社会実装や事業化につなげます。

具体的には、大学教員と企業研究者はクロスアポイントメントや出向等の仕組みを活用し、それぞれの知見や経験を共有しながら研究及び教育活動に従事します。また、企業研究者の博士課程進学や博士後期課程学生のインターンシップ・共同研究への参加を促進することで、産業界と学術界の双方を理解する実践的な人材を育成します。さらに、技術職員や研究開発マネジメント人材についても企業との交流を通じて、研究基盤を支える高度専門人材の育成とキャリア形成の支援に努めます。

研究開発では 13 の研究開発課題を設定し、大学と企業が共同して社会的・産業的課題の解決に向けた研究を開始しました。加えて、知的財産戦略、外部資金獲得、事業化支援などを担うマネジメント機能を強化し、研究成果の創出から社会実装までを見据えた一貫した産学共創体制を構築します。さらに、AI を活用した産学連携情報分析機能の高度化や海外企業との連携強化にも取り組み、戦略的かつ発展的な共同研究の創出を目指します。

教育では、企業と協働した産学連携教育研究型大学院プログラムを展開します。大学教員と企業研究者による共同研究指導や学位審査への参画に加え、企業研究者による講義や実践型教育プログラム、インターンシップなどを通じて、学生が最先端の研究開発や産業界の課題に触れながら学ぶ機会を提供します。また、知的財産教育やアントレプレナーシップ教育を組み合わせることで、研究力だけでなく、研究成果の社会実装や価値創出を担う実践力の育成を図ります。

さらに、博士学生から若手研究者、大学教員、企業研究者、起業家へとつながる多様なキャリアパスを提示し、人材の成長段階に応じた支援を行います。若手研究者への支援や研究環境の整備、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めることで、優秀な人材の確保と育成につなげます。また、技術職員や研究開発マネジメント人材に対しては、先端研究機器の活用に関する教育プログラムやリカレント教育等を通じて専門性向上を支援し、研究開発活動を支える基盤の強化を図ります。

これらの持続的な発展に向け、人事・評価制度の改革も推進します。共同研究、人材育成、社会実装などの産学連携活動を適切に評価し、その成果を処遇や資源配分へ反映する仕組みを整備することで、教職員による産学共創活動への積極的な参画を促します。また、AI 等を活用したデータ分析に基づく客観的な評価手法を導入し、透明性と納得性の高い組織運営を実現します。

加えて、産官学金連携によるコンソーシアムの形成や基金機能の活用、ファンドレイジング機能の強化などを通じて、民間投資の拡大と多様な財源の確保に取り組みます。これらの取組みを通じて、事業終了後も大学と企業が連携して新たな研究テーマや人材育成プログラムを継続的に創出できる自律的な運営体制の構築を目指します。

神戸大学は、本事業を通じて研究、人材育成、人材循環及び制度改革を一体的に推進し、KUIRE サイクルをさらに発展させることで、社会課題の解決とイノベーション創出を担う産業・科学革新人材の育成に貢献するとともに、大学と企業が共に価値を創出し続ける持続可能な産学共創モデルの実現を目指します。